

松原公園及び津波避難複合施設 【検討状況】

松原公園及び津波避難複合施設に係る**主な検討経緯**①

4月～6月の間に**整備のあり方(案)等を確認し、市民集会において報告**

- **R3.4.14 第1回 松原公園津波避難複合施設整備 検討委員会**
⇒ 検討委員会委員、主な検討経緯、検討いただく際の条件、意見を出していただく際の観点、検討対象、検討の進め方について確認
- **R3.4.21 第2回 松原公園津波避難複合施設整備 検討委員会**
⇒ 建築・公園のたたき台案を基に、空間利用について意見交換を実施
- **R3.5.14 第3回 松原公園津波避難複合施設整備 検討委員会**
⇒ 第2回でいただいた意見を踏まえた建築・公園の改善案について意見交換
- **R3.6.1 第4回 松原公園津波避難複合施設整備 検討委員会**
⇒ 第3回でいただいた意見を踏まえた建築・公園の改善案について意見交換
- **R3.6.30 第5回 松原公園津波避難複合施設整備 検討委員会**
⇒ 整備のあり方(案)、今後さらに検討が必要な事項を確認
- **R3.7.15 みんなで考える会(市民集会)開催**
⇒ 「松原公園津波避難複合施設整備検討委員会」の検討結果について報告

松原公園及び津波避難複合施設に係る**主な検討経緯**②

前回の市民集会以降、**設計の更新内容や管理運営の検討状況等を確認**

- **R3.10.29 第6回 松原公園津波避難複合施設整備 検討委員会**
⇒ 管理運営等に係る状況報告、設計に係る更新内容等の確認を行い、公園のデザイン等について意見交換を実施
- **R4.2.21 第7回 松原公園津波避難複合施設整備 検討委員会**
⇒ 設計の更新内容や管理運営の進め方等の確認を行い、公園のデザインや今後の展開等について意見交換を実施
- **R4.4.18 第8回 松原公園津波避難複合施設整備 検討委員会**
⇒ 設計の更新内容や管理運営の進め方等の確認を行い、公園のデザインや今後の展開等について意見交換を実施
- **R4.4.26 みんなで考える会(市民集会)開催**
⇒ 「松原公園津波避難複合施設整備検討委員会」の検討結果について報告

松原公園津波避難複合施設整備 検討委員会の目的

- ✓ 地域住民の「思い」を設計者（伊豆市）へ確実に伝えること
- ✓ 地域の持続性実現に向けた建築、公園の空間利用について議論（津波避難施設をどう使いたいか？施設の魅力をどう伝えたいか？松原公園はどうあってほしいか？松原公園に訪れた人をどうもてなすか？）

具体的なデザインについては、設計サイドで検討し、検討委員会にて確認した

公園設計のあり方（案）

公園の コンセプト

未来へ受け継ぐ新たな土肥の景づくり

～のんびりくつろぐ浜と夕日と松林を守り活かした、発信交流拠点を目指して～

① 観光利用者、公園利用者、避難の

それぞれを踏まえた園路・広場

利用者動線を踏まえた園路の設定や利用者の滞留空間（憩いの場）を踏まえた広場整備を行います。

② 海への眺望、マツ、サクラを

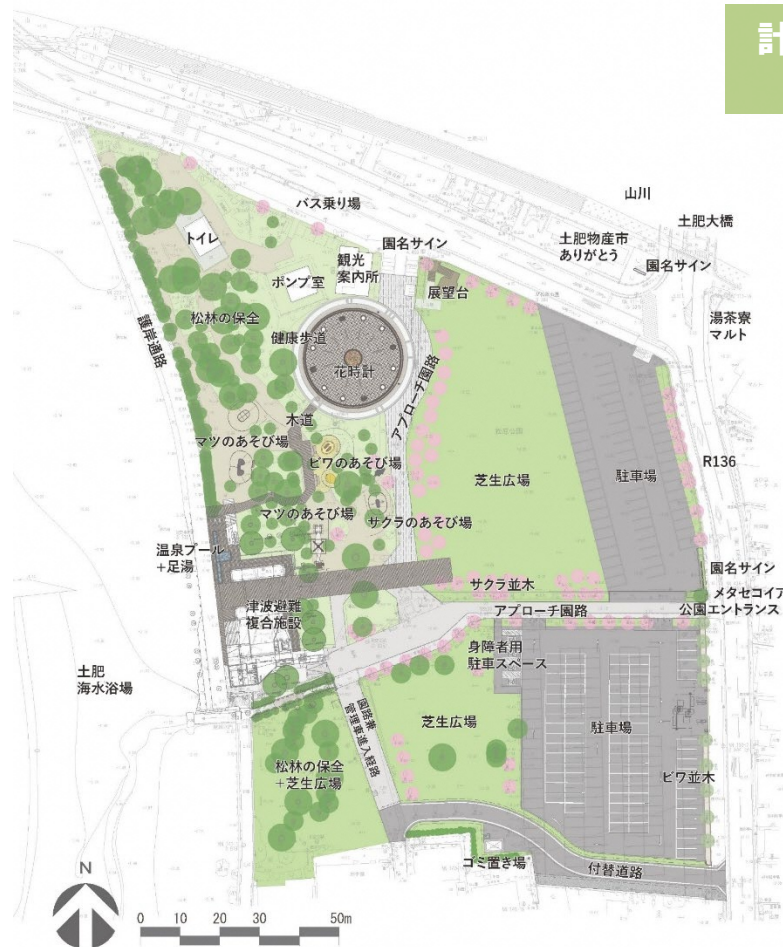
メインとした景観・植栽

駿河湾に沈む感動的な夕日を活かした景観・植栽整備を行います。

③ 土肥地区全体の魅力を高める施設

避難施設と一体となった魅力的なアクティビティ施設の導入や地域の拠点となるような各種施設の整備を行います。

計画平面図 （案）



公園設計のあり方（案）

施設・空間	整備あり方（案）
温水プール	<ul style="list-style-type: none">• 通年利用可能な足湯+プールとして整備する• 松を伐採する位置には設置しない• 夕日が見えたり、景観に配慮した位置・設計とする
遊び場	<ul style="list-style-type: none">• 遊具設置のために松を伐採しない• 複合施設、海辺、松との雰囲気にも配慮した遊具とする• 多様な年齢層に対応した遊具とする
芝生広場	<ul style="list-style-type: none">• 多目的に利用できる芝生広場としていまのまま活用する• 春のみどころとなるように桜を植える(増やす)
花時計	<ul style="list-style-type: none">• 健康遊歩道(足つぼ)はいまのまま活用する• ライトアップ・デジタル表示等も検討する
松林	<ul style="list-style-type: none">• 適切な維持管理を行い、健全な松林とする• のんびりくつろげたり、散策ができるようにベンチや木道を整備する

施設・空間整備の優先順位（案）

施設・空間	内容	優先度	備考
道路付替	公園敷地を統合するために必要な整備	大	
防災にかかわる園路整備	避難経路に必要な整備		
防災にかかわるサイン	避難誘導に必要な整備		
温水プール	土肥海水浴の目玉施設として建築と一体的に整備		一部取りやめ・規模縮小・仕様変更の可能性有
園路整備（照明含む）	避難路・管理用車両動線として必要な園路を整備		主要園路のみの整備・仕様変更の可能性有
遊び場（遊具）	地域のこどもたちの遊び場として必要な整備		位置の変更・規模縮小・仕様変更の可能性有
サイン	公園のサインを整備		主要サインのみの整備の可能性有
駐車場整備	有料化の場合、ゲートや区画線引き直しなど整備		現状のまま利用の可能性有
散策路（松林）	松林内の散策路を整備		位置変更・仕様変更・現状のまま利用の可能性有
花時計	花時計のリニューアル		規模縮小・仕様変更の可能性有
芝生広場	芝生広場を耐圧芝生舗装に整備		現状のまま利用の可能性有
桜植栽	あらたに桜を新植	小	

※予算規模によって、優先順位によらず、整備が可能となる場合がある

施設設計のあり方（案）



施設の整備方針

① 平常時の活用が災害時の安全性を増幅させる複合施設

観光施設として日常利用を可能にすることによって、地域経済的な効果や、慣れた施設としての安全性を高めます。

② 松原の風景を尊重し、これを生かした新しい地域景観

これまでの歴史的な松原の風景と文化を十分に尊重して計画し、人々に愛される地域景観・空間を創出します。

③ きめの細かい配慮がなされた安全・安心な津波避難施設

従来の津波避難タワーで見られない新たなアイデアを統合し、構造・避難・コスト上合理的な新しい建築を実現します。

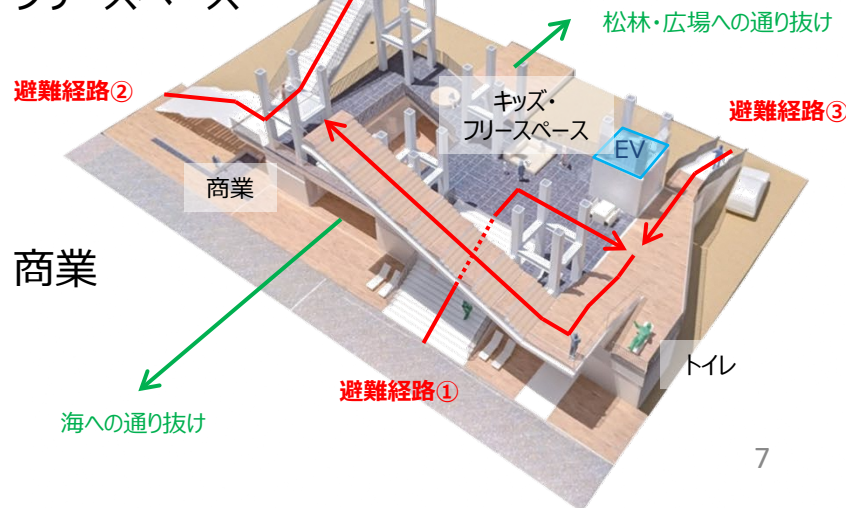
4階：避難・展望



3階：避難・飲食



2階：キッズ・フリースペース



1階：商業



施設設計のあり方（案）

施設・空間	整備あり方（案）
4階	<ul style="list-style-type: none">・ 飲食可能なフリースペース、夕日等の眺望や景観に配慮した展望スペースとして整備する
3階	<ul style="list-style-type: none">・ 眺望を活かして飲食店が入るイメージとする・ 避難時にスムーズに入れるようセキュリティに配慮した設計とする
1階・2階	<ul style="list-style-type: none">・ 雨天時も使用可能なキッズスペース、飲食可能なフリースペースとして整備する(2階)・ 賑わいを生む物販等の商業テナントが入るイメージとする(1階)
階段 (避難経路)	<ul style="list-style-type: none">・ 円滑な避難のため、階段の幅を広めに整備する・ 避難者の体力の有無も考慮して緩やかな勾配の階段も整備する
全体	<ul style="list-style-type: none">・ 災害時にも活用できるように非常電源等を用いた照明設備を整備する・ 松林の色彩を考慮し、比較的明るい色彩(ライトグレー等)を用いる・ 木材やタイルを中心として、裸足に優しい素材を活用する・ アクセスや搬出入のためエレベーターを配置する・ 避難場所へはいつでも誰でも避難可能とする
議論の結果 反映が困難 であった事項	<ul style="list-style-type: none">・ 屋上階への遊具の設置(避難スペース確保のため固定されたものは実現が困難)・ 階段(避難経路)のスロープ化(避難距離が長くなるため実現が困難)・ 施設内への足湯等の設置(公園へ設置予定、コストが高くなるため実現が困難)

管理運営のあり方（案）

■本事業に対する課題整理

要望	必要な対応	内容
日常的に人が訪れる観光拠点施設としての設計	避難施設や海の家ではなく、観光施設として新たに賑わいを創出する施設デザイン	<ul style="list-style-type: none">✓ 旅館宿泊者の夕食場所としても利用できる施設➔ 閑散期や夜間にも利用されるような集客力ある施設
閑散期（冬期や夜間）の対策	<p>固定集客の確保(例)</p> <p>①周辺施設連携による誘客</p> <p>②イベントや広報による施設PR</p>	<ul style="list-style-type: none">✓ 旅館との連携により、食事提供場所として宿泊者を誘客する仕組み✓ 賑わい創出につながる管理運営費用の充当

一年を通じて賑わいある状態を実現するためには・・・

閑散期(特に冬季や夜間)の集客を確保するための取り組み

「地域連携」により「集客確保」へ繋げるアイデア が必要

管理運営のあり方（案）

■官民連携事業目標

民間ノウハウを活用した「広報やイベントなどのソフト事業」や「地域連携」による「集客確保」につながる官民連携事業

■公募条件(現段階の想定)

1. 事業手法と事業範囲

公園(駐車場を含む)、観光施設部分の管理運営を、「指定管理者制度」等で公募し、可能なら同じ事業者にも、防災施設部分の管理を委託する。

2. 契約や協定の締結

公園及び観光施設部分に対する管理は、観光商工課と、防災施設部分の管理は、危機管理課と、選定された事業者が締結する。

3. 施設運営収入

駐車場および屋上などの施設に対する利用料金制の導入。

4. 自主事業

飲食事業、物販事業、自動販売機、収益イベント事業を自主事業として行う。

5. 設問・評価基準

「地域連携による集客確保に資する取り組み」を評価できるよう設定する。

今後さらに検討が必要な事項

観点	内容
周辺施設との連携	<ul style="list-style-type: none">● 公園と連携した周辺施設の整備や公園との関わり方 地場産品販売所(ありがとう)/粹松亭さん前の広場/海辺空間
地域の活性化	<ul style="list-style-type: none">● 地域文化に係る要素の導入 松/夕日● 地域が一体となった公園の活用方法 イベントとの連携強化(鯉のぼりあげ等の行事)● 地域住民が参加した公園・施設の活用方法 施設名称の選定、公園サインのデザイン検討
地域防災力の向上	<ul style="list-style-type: none">● 施設への避難 施設への避難訓練による検証● 避難後の安全確保方策 観光客を含めた避難所への避難誘導、避難所の運営支援

整備のあり方（案）まとめ

●検討員会において方向性が確認された事項

■公園設計／施設設計

※整備イメージ等を前回市民集会で確認済

■施設・空間整備の精査

- ・ 松林の整備方法や整備費用等を踏まえた、公園・施設について整備のあり方を見直し

■管理運営

- ・ 事業目標や公募条件等を整理

●今後さらに検討が必要な事項

■周辺施設

- ・ 公園と連携した周辺施設の整備や公園内への取込み

■地域の活性化

- ・ 地域文化に係るコンテンツの導入
- ・ 地域が一体となった公園の活用方法
- ・ 地域住民が参加した公園・施設の活用方法（公園サインのデザイン検討等）

■地域防災力の向上

- ・ 施設への避難
- ・ 避難後の安全確保方策

実施設計をとりまとめ、
松原公園・津波避難複合施設
着工予定

事業者や地域の皆様と
引き続き意見交換にて
検討していきます